



2年 加藤ゆずなさん 2年 山本 早織さん

鏡餅づくりを行いました。

12月26日（月）に、農業クラブのみんなで鏡餅作りをしました。餅がすごく熱々で苦戦しましたが、職員室や農場管理室などに置く鏡餅を8つ完成させることが出来ました。

次は、いよいよ試食の時間です。自分たちの食べたい分をお皿に入れて、きな粉、粒あん、ゴマ、醤油を好みに合わせて味付けしました。そして、お雑煮も作ってみんなで1年を振り返りながら美味しく頂きました。



みんなで作った鏡餅



おいしくいただきました



お雑煮もおいしかった

3年生課題研究発表会が行われました。



ドキドキ・・・いよいよ発表です

1月20日（金）に3年生が1年間研究し、その成果や反省点などをまとめ発表されていました。各班が違うテーマで研究をし、写真や動画を使ってわかりやすく、1、2年生や先生方に説明をしていました。例えば、蚕の成長、季節にあった琥珀糖を作ったり、花で天ぷらを作って実食している班もありました。私たちも、2月に1年間の研究した成果を発表するので、とても勉強になりました。



作物班の発表中



琥珀糖についての発表です



ハキハキと気持ちを込めて



鶴形そばを作ってみました！



初めてのそば打ちを体験する女性部員

藤里支部が1月10日に行った第3回冬期講座では、能代市鶴形地区の特産「鶴形そば」を製造する鶴形そば製造加工株式会社（代表取締役小林吉郎）を講師に招き、そば打ち体験会を行いました。

講師による講義と実演を受けた後、参加した女性部員20人による初めてのそば打ち体験がスタート。

今年収穫した鶴形産のそば粉を使って、そば粉と水を力一杯練り合わせたあと、延し棒で生地を延し、包丁で均一に切って完成。

料理上手の女性部員らも初めてのそば打ちとあって悪戦苦闘の様子でした。

参加者は「初めてやってみて、そばを均等に切るのが難しかった。年越しも「鶴形そば」を食べたので、帰ってから夫に食べさせてどっちが美味しいか聞いてみたい」と笑顔を見せてくれました。

簡単な口腔ケアで健康寿命を延そう！

二ツ井支部は1月19日開催の第3回冬期講座にて、秋田県健康福祉部口腔保健支援センターの熊谷祐子氏が講師を務め、「いつまでも美味しく食べられるように」と題した講習会を行いました。

講習会では「今日からでも、簡単に出来る口腔ケアを続けることで、認知症予防や加齢に伴う心身の衰えを防ぐことができる。健康寿命を延ばすために簡単なことから取り組みましょう」などと伝えられると、参加した90人の女性部員は熱心に聴講していました。

参加者からは「フッ素入りの歯磨き剤を使用している場合の、歯磨き後のうがいは、1回程度で十分と聞き驚いた。今日から早速実践してみようと思う」と話していました。

講習会終了後、参加者らに記念品としてエコーマーク品の歯ブラシ「アパチュール」がプレゼントされました。



「いつまでも美味しく食べられるように」と題した講習会

秋田やまもと女性部との交流会を初開催



料理を囲みながら、話しが弾む両女性部員

女性部（佐々木博子部長）は1月13日にJA秋田やまもと本店で、同女性部（木村弘子部長）との交流会を初めて開催しました。あきた白神女性部員8人、秋田やまもと女性部員10人が参加。

交流会では、秋田やまもと女性部が定期的に催すコーヒースロンを見学し、同女性部が調理し提供する「おしるこ」に舌鼓を打ちました。

その後、秋田やまもと女性部員が用意した出汁に、あきた白神女性部員が持ち込んだ「だまこ」を入れた「だまこ鍋」や両女性部員がそれぞれ持ち込んだ郷土料理を囲んで懇親会がスタート。

佐々木部長は「隣同士のJAであっても、その風習、食文化は異なるが、郷土料理などを守り、後世に伝えていく責務を持つJA女性部として、今後も交流し絆を深め、地域の風習や、食文化を守っていきたい」と話します。

両女性部員は、お互いに料理レシピを紹介し合うなど、交流会は大いに盛り上がりを見せていました。